

スポーツ科学研究科設置の趣旨および育成する人材像

スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、学校・地域・その他の場において、障害児・者を含む個々の多様なニーズに応えリーダーシップのとれる人材に対する社会的ニーズは、ますます高まっています。そうした情勢を踏まえ、本研究科では、スポーツ科学に関わる理論の探求と研究により学際的かつ実践的な研究成果を構築し、スポーツ科学の発展に寄与できる高度専門職業人の養成をめざします。加えて、多様なスポーツニーズへの理解・倫理観を有し、スポーツ・体育の現場やそれを取りまく社会における課題を解決することで、スポーツ文化を発展、継承できる人材を養成します。

修了後の進路

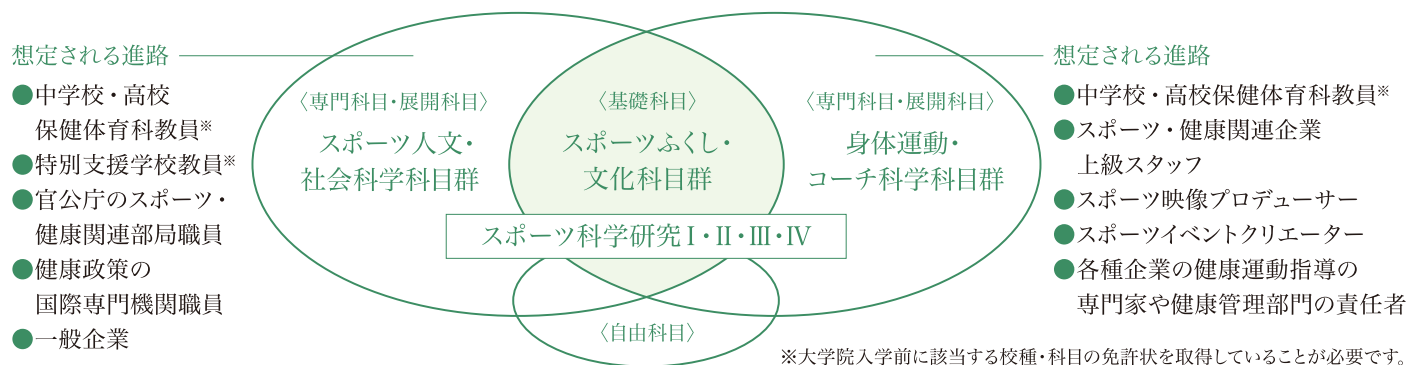
- (1) スポーツ関連組織のスタッフ：競技スポーツの指導者と、それを支えるスポーツ科学センター等の研究員や医・科学サポートスタッフ、国内外の各種競技団体スタッフ、スポーツクラブのエグゼクティブマネージャー、専門的知識を備えたアスリート等
- (2) 教育職：中学校・高等学校保健体育科教員※、特別支援学校教員、特別支援学級教員※
- (3) 行政職：官公庁のスポーツ・健康関連部局の職員、健康政策の国際専門機関職員等
- (4) 一般企業：①スポーツクラブ等スポーツを直接的に扱う企業（スポーツ・健康・フィットネス関連企業等）の上級スタッフ、研究開発職等 ②スポーツを間接的に扱う企業の上級スタッフ（メディア産業の基幹要員、スポーツ映像プロデューサー、スポーツイベントクリエイター等） ③スポーツに関連のない企業の健康運動指導の専門家、健康管理部門等の責任者等
- (5) 研究職としての研鑽を積むために他大学院の後期課程への進学等

※大学院入学前に該当する校種・科目の免許状を取得していることが必要です。

教育課程

基礎科目は「スポーツふくし・文化科目群」によって編成し、関連する科目を、専門科目と展開科目に配置し、それらを補完する自由科目で構成しています。

修士論文は「スポーツ科学研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」によって完成させる構造となっています。



Sports Lab SALTO

～研究を支える充実の学修環境～

移動路が完全バリアフリー設計の学習施設「スポーツラボ・サルト」には各種実験室をはじめ、バスケットボール公式コート3面がとれる演習室、25m×6コースのメインプールと水深可変（0～120cm）のサブプール20m×2コースを備えた屋内温水プールなどを完備。高度な演習・研究に応えます。

